

**施工方法**

	設置場所	設置間隔	支持材の種類	適用除外	適用階の区分
耐 震 ク ラ ス A B 対 応	上層階 屋上 塔屋	配管の標準支 持間隔の3倍以 内。ただし、銅 管の場合は4倍 以内に1箇所設 ける	すべてA種		
	中間階		50m以内 は、A種 の他はB種		
	地階 1階		すべてB種		

**ご注意！**

この図は画像データです。CAD データでは  
ありません。また施工図とは違い寸法と  
か縮尺は考慮していません。  
あくまでも施工要領の説明図です。  
図を編集（修正）したい場合は、  
Word のオートシェイプを利用するか  
または Windows に付属のペイントソフト  
でおこなうことができます。

**上層階の定義**

- ・ 2～6階建ての建築物では、最上階を上層階とする。
- ・ 7～9階建ての建築物では、上層の2層を上層階とする。
- ・ 10～12階建ての建築物では、上層の3層を上層階とする。
- ・ 13階建て以上の建築物では、上層の4層を上層階とする。

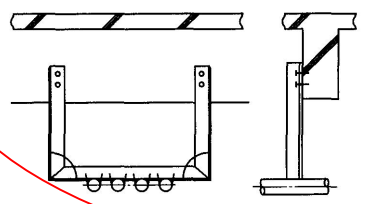
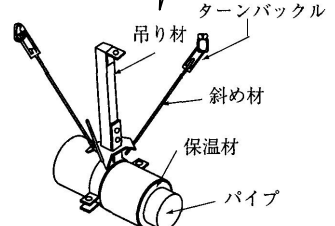
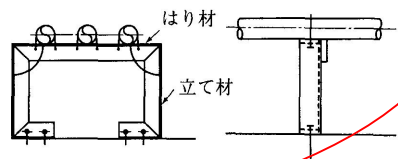
**中間階の定義**

- ・ 地階、1階を除く各階で上層階に該当しない階とする。

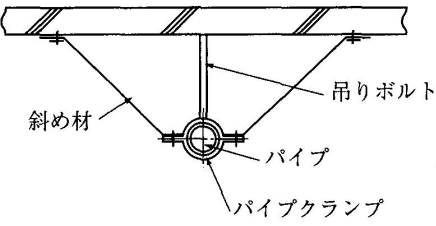
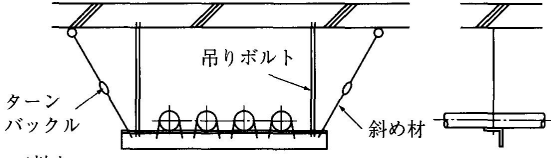
文字（文章）は  
自由に編集で  
きます。

注）耐震クラスには、S、AおよびBがあり、耐震クラスSの場合は、支持材の種類をA種からSA種に変え、中間階のB種をA種に変え、（財）日本建築センター発行『建築設備耐震設計』（1997年版）を参照。

**SAおよびA種耐震支持方法の例**

天井スラブ等より 吊り下げる方法	天井スラブ等より 吊り下げる方法	床スラブより 支持する方法
 <p style="text-align: center;">はり（またはスラブ）に吊り下げる場合 （ラーメン架構）</p>	 <p style="text-align: center;">ターンバックル 吊り材 斜め材 保温材 パイプ</p> <p style="text-align: center;">はり（またはスラブ）に吊り下げる場合</p>	 <p style="text-align: center;">はり材 立て材</p> <p style="text-align: center;">ラーメン架構</p>

B種耐震支持方法の例

はりや天井スラブ等より 吊り下げる方法 (1)	はりや天井スラブ等より 吊り下げる方法 (2)
 <p>斜め材 吊りボルト パイプ パイプクランプ</p>	 <p>吊りボルト ターンバックル 斜め材</p> <p>1以上 ▽ 2 (斜め材取付け角度)</p>